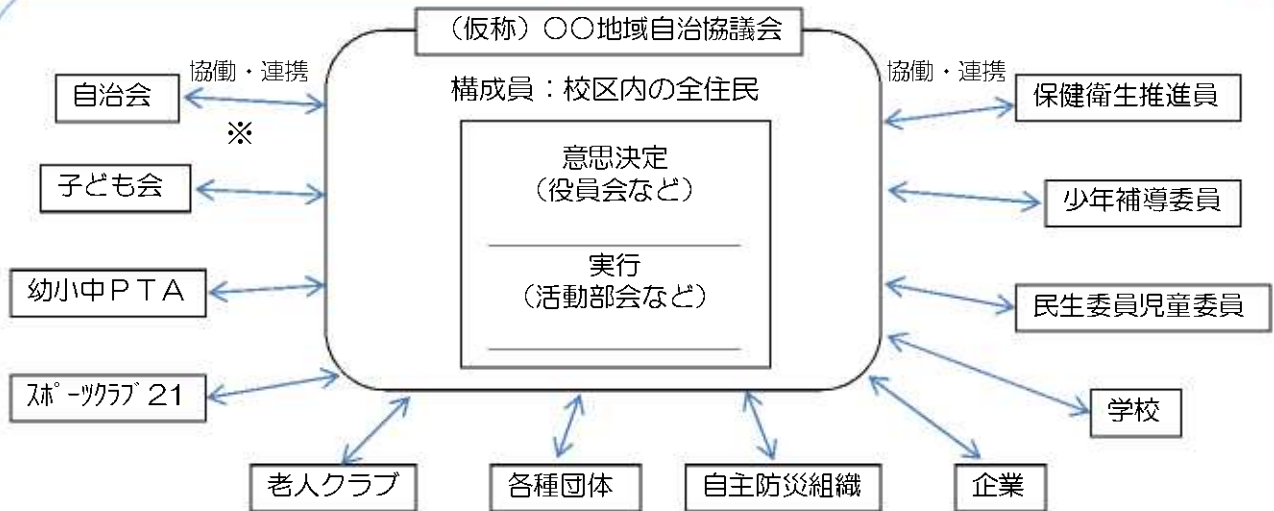


地域自治組織の設立について

地域においては、住民一人ひとりが同じテーブルにつき、地域の課題を皆で考え、自らの力で解決していくことが必要です。そのため、次のような組織を設立していただきます。

なお、地区社会福祉協議会やまちづくり協議会等が申請される場合は、既存組織を再編することになります。

1. 地域自治組織のイメージ



※各種委員・団体等を、構成員とするかどうかは、各地域自治組織の判断によります。

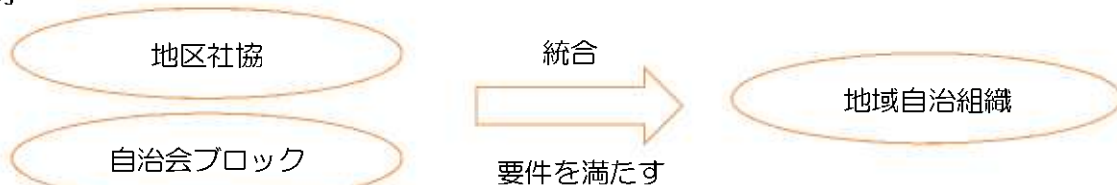
2. 地域自治組織の設立の流れ

地域の現状から、地域自治組織の設立には、次のようなパターンが考えられます。

パターン1

地域内に小学校区（ブロック）を単位とした、地域を代表する組織が複数存在する地域（ex. 地区社協と自治会ブロック）は、地域内において類似する事業をそれぞれ独立して活動しており、より効果的効率的にまちづくりを進めるために、統合し地域組織の再構築を図る。その際、設立の要件を満たす組織とする。

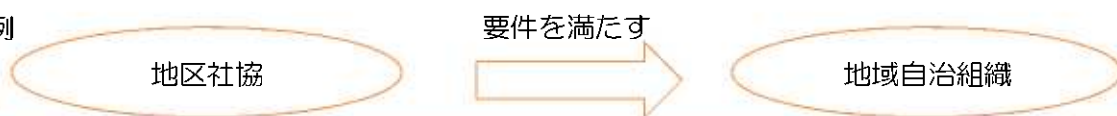
例



パターン2

地域内に小学校区（ブロック）を単位とした地域を代表する組織が1つ存在する地域（ex. 地区社協、まち協）は、統合する必要がないものの、設立の要件を満たす地域組織へと再構築する。

例



3. 設立の要件

地域自治組織を設立する際には、次に掲げる要件を満たしていただく必要があります。どのような手法で各要件を満たすのかについては、各小学校区内で具体的に検討していただくこととなります。

【地域代表性】

小学校区内のすべての住民で構成されており、意思決定に住民の意見が反映されていること。

【民主性、透明性】

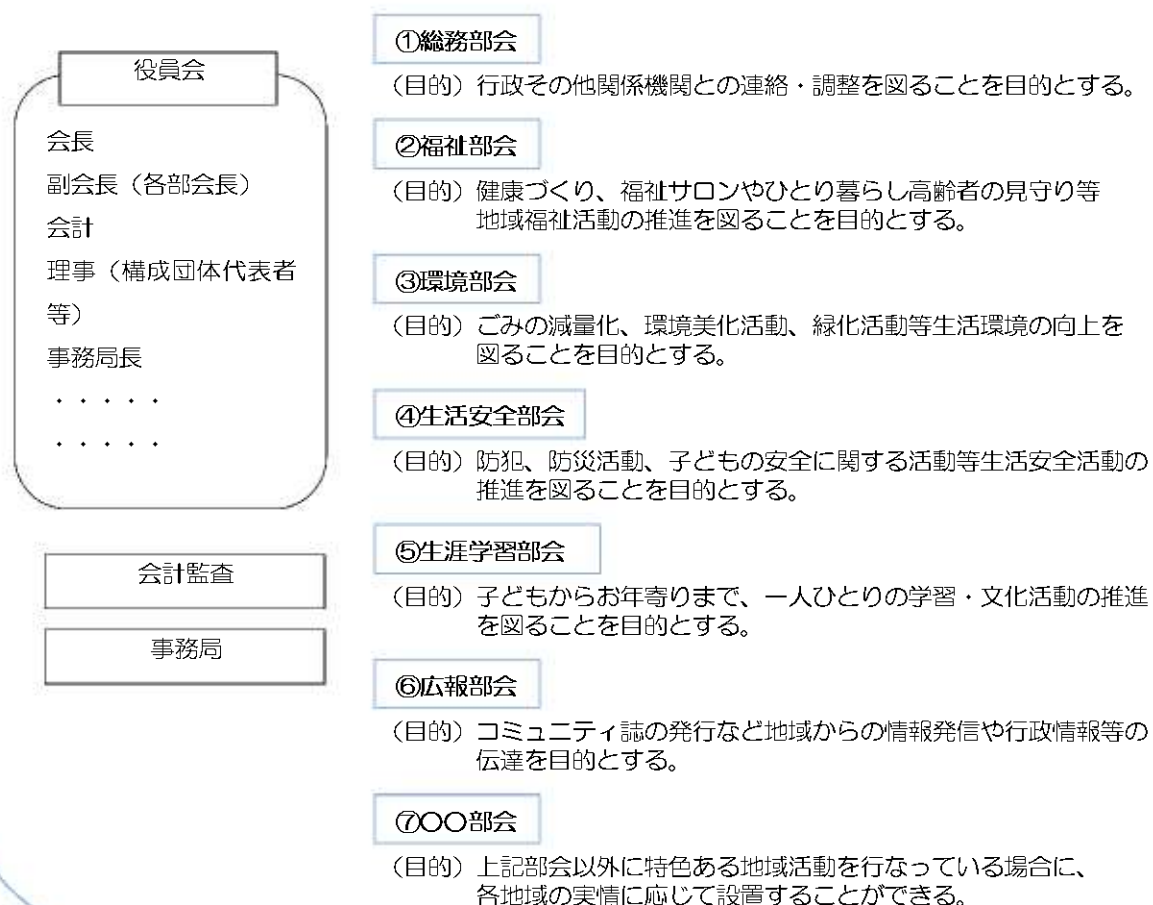
規約が整備されており、意思決定、役員の選出方法、会計等が民主的で透明性をもった運営を行っていること。

【開放性】

小学校区内の誰もが希望に応じて運営に参加できること。また、取組の経過等を地域住民の誰もが知ることのできる体制を有すること。

4. 運営体制例

各団体の課題に効率よく対応できるような運営体制を構築するよう努めていただきます。たとえば、次のように分野ごとに部会を設けていただく方法などがあります。



5. その他、設立のための手続

- ・小学校区内の全住民に対し、地域自治組織を設立しようとする事等の周知を行ってください。
地域ビジョンの策定や地域総括交付金を活用した事業などの周知
- ・設立の要件を満たすために必要な規約の制定・改正を行ってください。
構成員の要件や総会の方法など

地域ビジョンの策定について

1. 地域ビジョンとは

地域ビジョンとは、地域の将来像やそれを実現させる活動計画を示すものです。そのため、できるだけ多くの住民の意見を聞く機会を設け、地域の皆さんで「こんなまちにしたい」という地域の将来への思いを出し合い、共通の将来像とそれに基づく行動計画を策定します。

2. 策定の効果

地域ビジョンを地域の皆さんで取りまとめることにより、これまで一人ひとりがそれぞれ考えていた目標や課題を、地域で共有できると同時に、策定に多くの皆さんが携わることで、地域全体として取り組む土壌づくりなどが期待できます。

また、役員の交代により、問題点の把握や事業の引継ぎが困難になるといった課題も、計画を策定することで、これからどんな事業を実施していくかを考える際の基準とすることができます。

3. 策定の主体

主体は、地域の皆さんです。地域ビジョンの策定に向けて、地域で継続的に話し合う場である検討会をつくりましょう。その検討会を中心とし、多くの住民の参加を経て策定します。また、市の職員も策定にあたり、適宜アドバイス等を行い、一緒に考えていきます。

※事務局の設置

各地域において、ビジョンの策定に関する事務等（会議の記録や、アンケートの集計・分析等）をスムーズに行うには、事務局の設置が効果的です。地域自治組織の代表者や役員が担うと、負担が大きくなる場合もあります。役員以外の事務担当者やワークショップの参加者などから事務局の人材を見つけてお願いできれば、無理なく活動できます。

4. 策定手順

主な策定手順

①地域の魅力や課題についての調査・整理

住民の意見やニーズ、地域の資源や特性・課題などを調査し把握します。方法は、住民が対等な立場で話し合う場（ラウンドテーブル、ワークショップ）を持ち、共有することや、アンケート調査、まちあるき、インタビュー調査などが考えられます。

②地域の将来像づくり

集めた地域の魅力や課題を基に、地域の将来像や地域づくりの方向性について話し合い、ビジョンを作っていきます。

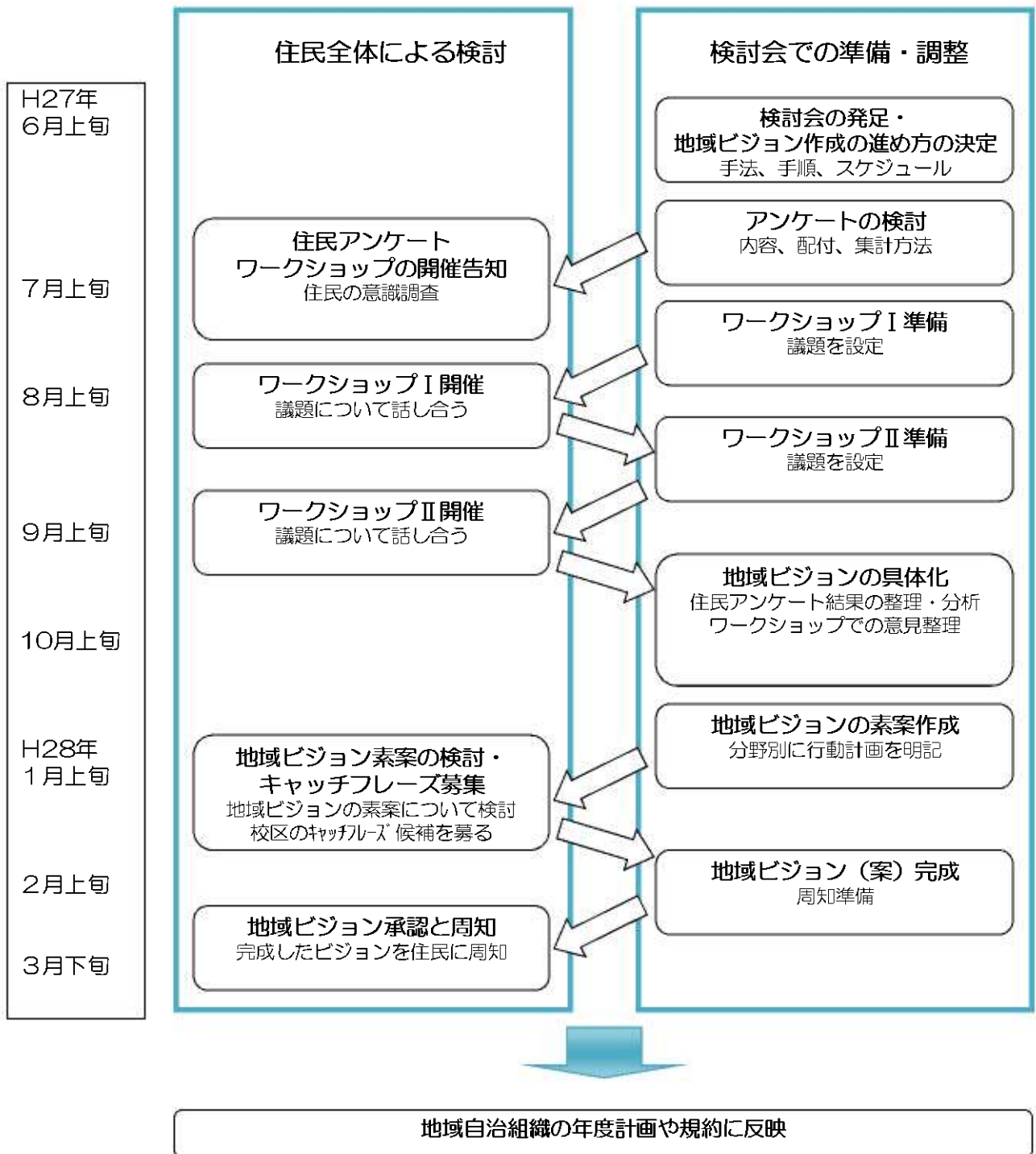
③地域住民への情報発信

活動の内容や経過の発信。完成された地域ビジョンも発信します。
（地域の広報紙、ホームページなどを活用）



（↑ワークショップの様子）

ビジョン策定の手順例（スケジュール例）



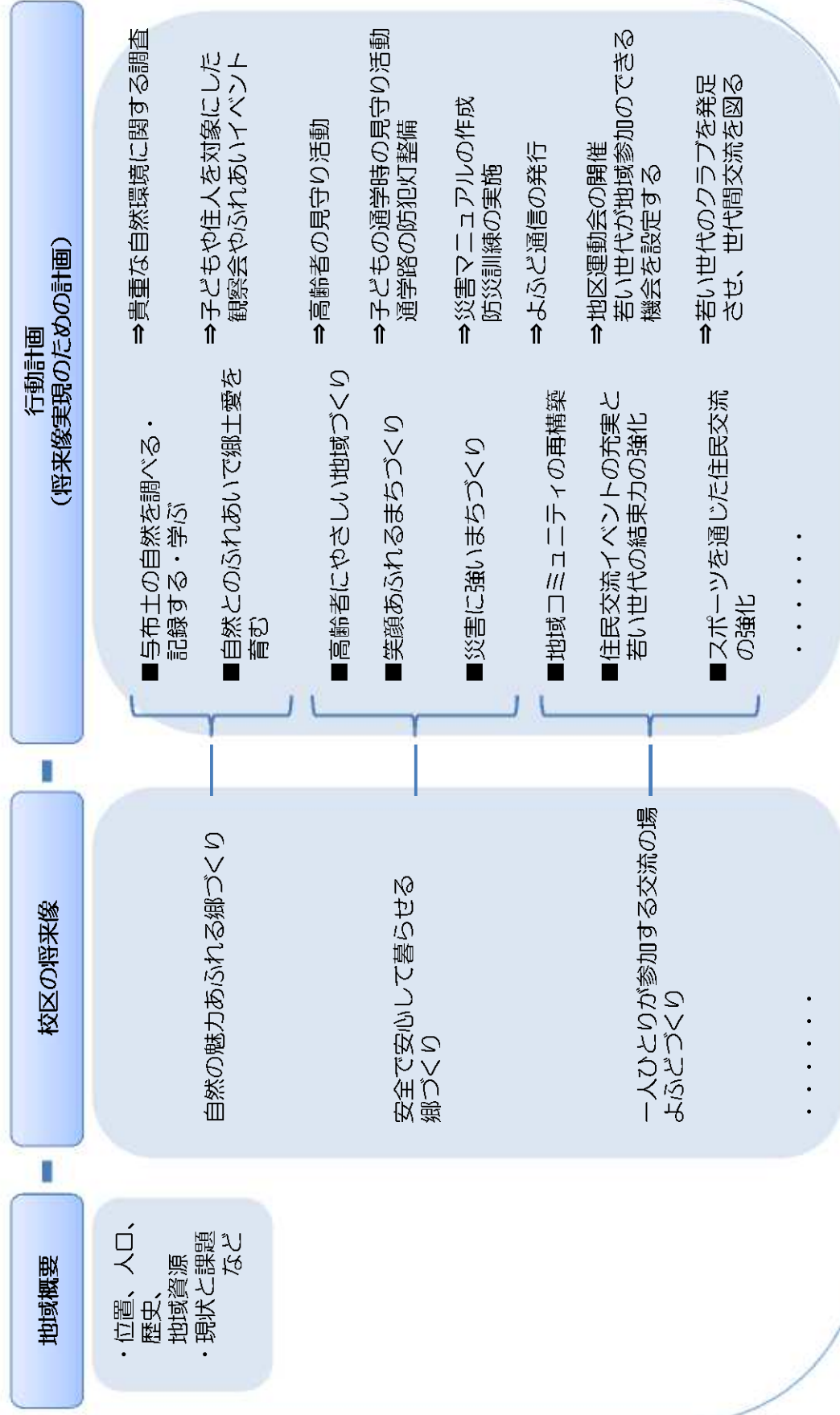
5. 策定費用

策定にかかる経費については、一部市から補助することを予定しております。詳細については、後日お知らせします。

6. 地域ビジョンの骨子例

〇〇校区の将来像（基本構想）とその将来像を実現するためのプロジェクト（行動計画）の策定をもって、〇〇地域ビジョンとする。

先進地である朝来市の地域ビジョン例
朝来市・与布土地域自治協議会



地域総合交付金を活用した事業の実施例

大分類	中分類	小分類 (例)
健康福祉	生きがいと健康づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ グランドゴルフなど各種スポーツ大会 ・ いきいき健康体操やウォーキング
	集いの場づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉サロン
	高齢者の見守り事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣による見守り、声かけ（民生委員・児童委員との連携） ・ 配食サービス
地域環境	環境美化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の清掃 ・ 水路の整備 ・ 河川の清掃
	緑化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンカーテンの実施 ・ 樹木の保全
防犯、防災	防犯事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登下校の見守り ・ 夏祭りや年末年始の夜警パトロール ・ 振込み詐欺等の予防啓発
	交通安全事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車安全講習会など
	防災事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練 ・ 要援護者に対する支援活動 ・ 地域防災マニュアルの作成
地域活力	地域交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏祭り ・ もちつき大会
	賑わい創出事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源の活用 （歴史街道、官兵衛、大学との連携など） ・ 空き店舗の活用
子どもの健全育成	健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種子どもの見守り、居場所づくり ・ 学習活動支援 ・ ラジオ体操
地域自治の強化	広報啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティ誌の発行 ・ ホームページやSNSの開設、更新 ・ 掲示板の活用 ・ 活動内容の展示
	活動拠点の充実と自主財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同利用施設の管理、活用 ・ コミュニティビジネス
	人材の確保、人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種研修、学習会の開催 ・ 各団体との情報交換会の開催 ・ 住民自治に関する研修、講演会への参加
	組織体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会の見直し ・ 事務のマニュアル化 ・ 各部会ごとの情報共有